

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月10日

事業所名 うべつくし園放課後等デイサービスセンター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		小学部と中高等部で建物を分け、年齢別で活動できるようになっている	
	2	職員の配置数は適切である	○		多機能型事業所の全職員でご利用者様の支援にあたっている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日のミーティングで支援の見直しをしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価内容を全職員で共有している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人ホームページに公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、実施する必要があると考えている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		OT、PT、山口発達障害者支援センター職員に定期的に児童支援の相談を行っている	積極的な研修参加及び事業所内勉強会等を継続する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者個別懇談会を実施し、ニーズの把握及び情報交換を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所作成のツールを使用し、児童の状況把握を行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員会議で活動内容を検討して決めている。	今後も児童が豊かな生活が送れるような活動を継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		児童の利用時間に応じて活動内容を検討している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童の年齢に応じた活動内容を考えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティング等で活動内容の検討を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティング等で活動の反省や個々の児童の支援の見直し等を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日の記録を通し、児童の変化や自分自身の支援を考えるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		懇談会時にニーズや課題について確認している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		活動のマナー化を防ぐことを念頭に支援している。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が担当職員が出席するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校だよりやバス時刻表の確認を行い、トラブルが無いように努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		隣接する児童発達支援センターとは情報共有が出来ている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	他の放課後等デイサービス事業所に移行する児童に対し、必要に応じて行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		隣接する児童発達支援センターの研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	実施していない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用日には連絡帳を通じ、情報共有を行っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳でやり取りしたり、迎えに来られた時に離している。また、必要に応じて懇談する時間を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者からの相談や質問に対しては迅速に対応するように努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の活動予定表を配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		法人の個人情報規定を遵守している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童には必要に応じてPECSを使用している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	○		うべつくし園としてイベントを運営し、地域との繋がりを作るようにしている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	保護者への周知が出来ていない。	保護者が見える所に掲示する等し、保護者への周知を図る。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		うべつくし園として毎月避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	該当児無し			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	該当児無し			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		相当する事案が発生した時は即座に報告書を作成し、職員間で対応や改善点を確認している。	